
≫ 目次

01 2018年10月期 第2四半期連結業績

02 2018年10月期 連結業績予想

03 今後の展開

》BULL55

Build Up a Legendary Leading company plan for the 55th

高収益を基盤として、顧客・社員・株主に報いる良質で強力な企業集団であること

》重点施策

01

国内営業基盤の拡充

02

海外展開

03

内部オペレーションの最適化



>>BULL55 重点施策

01

国内営業基盤の拡充

02

海外展開

03

内部オペレーションの最適化

》国内営業基盤の拡充

現在予定されている大型プロジェクト

火力発電



地熱発電



メガソーラー発電



熊本の震災復興



リニア中央新幹線



北陸新幹線



九州新幹線 武雄温泉～長崎



北海道新幹線



北海道の災害復興



東北の震災復興



NEXCO3社の大規模更新

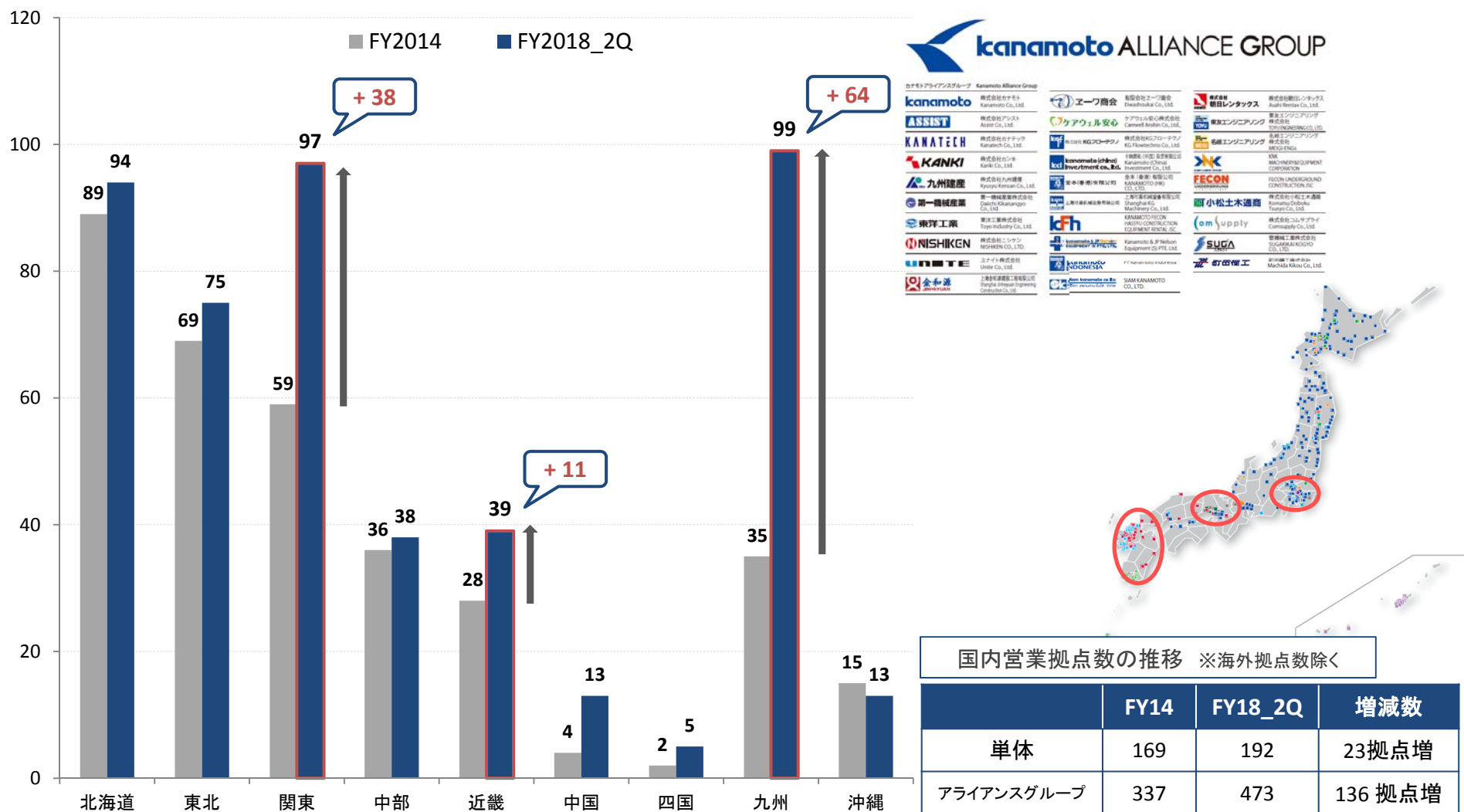


東京五輪関連工事



国内営業基盤の拡充

カナモト単体の国内営業拠点数は、23拠点を新設し192拠点
アライアンスグループは、136拠点増加の473拠点と着実に営業基盤を拡充



》国内営業基盤の拡充



松山営業所



小牧営業所



飯田営業所



西条営業所



富士営業所



村上営業所



武蔵村山営業所



日高機械センター



久慈営業所



関東高所作業車整備センター



東日本製鉄所京浜構内機材センター

>> 国内営業基盤の拡充

現在、アライアンスグループ全体で九州地区に99拠点を展開
今年7月には当社初出店となる「福岡営業所」「九州総合機材センター」を開設予定



株式会社ニシケン

- 本社 ● 久留米営業所
- メディカル推進課
- 福祉久留米第一工場
- 福祉久留米第二工場

- 2 大牟田サテライト
- 3 久山サテライト
- 4 小倉南営業所
- 5 若松営業所
- 6 久留米南サテライト
- 7 三浦サテライト
- 8 久留米東営業所
- 9 早良サテライト
- 10 中津営業所
- 11 営業強化推進本部
- 12 博多営業所
- 13 柳川営業所
- 14 八女東サテライト
- 15 八女営業所
- 16 若松仮設センター
- 17 福岡仮設営業所
- 18 筑豊営業所
- 19 小倉営業所
- 20 博多営業所
- 21 福祉福岡工場
- 22 ペットリレーションSEC
- 23 グラフィックSEC
- 24 伊万里営業所
- 25 佐賀営業所
- 26 唐津サテライト
- 27 神埼営業所
- 28 武雄営業所
- 29 鳥栖サテライト
- 30 ハウスセンター
- 31 特機営業部
- 32 久留米仮設営業所
- 33 建機工場
- 34 ハイドロボニックスSEC
- 35 車検整備工場
- 36 銅板センター
- 37 佐賀営業所
- 38 佐世保営業所
- 39 佐世保サテライト
- 40 長崎営業所
- 41 長崎営業所
- 42 福祉長崎工場
- 43 大津営業所

- 株式会社カナモト
- 株式会社ニシケン [本社・新産業部門]
- 株式会社ニシケン [建機部門]
- 株式会社ニシケン [仮設部門]
- 株式会社ニシケン [福祉部門]
- 株式会社九州建産
- 第一機械産業株式会社
- 管機械工業株式会社
- ユナイテ株式会社
- 株式会社KGフローテクノ



株式会社KGフローテクノ
技術センター



株式会社九州建産

- 46 九州建産本社
- 47 福岡営業所
- 48 篠栗機材センター
- 49 粕屋営業所
- 50 福岡営業所
- 51 北九州営業所
- 52 センター営業所
- 53 那珂川機材センター
- 54 松島営業所
- 55 西営業所
- 56 佐賀営業所
- 57 長崎営業所
- 58 愛野機材センター
- 59 長崎営業所
- 60 佐世保営業所
- 61 島原営業所
- 62 平戸営業所
- 63 南島原営業所
- 64 南島原営業所
- 65 加津左機材センター
- 66 熊本営業所
- 67 鹿児島営業所



第一機械産業株式会社

- 68 第一機械産業本社
- 69 指宿出張所
- 70 鹿児島中央営業所
- 71 串良工場
- 72 南大隅営業所
- 73 財部出張所
- 74 奄美営業所
- 75 鹿児島営業所
- 76 鹿屋営業所
- 77 柏原出張所
- 78 大隅営業所
- 79 垂水営業所



管機械工業株式会社

- 78 福岡センター
- 79 福岡営業所



ユナイテ株式会社
福岡営業所 福岡工事営業所



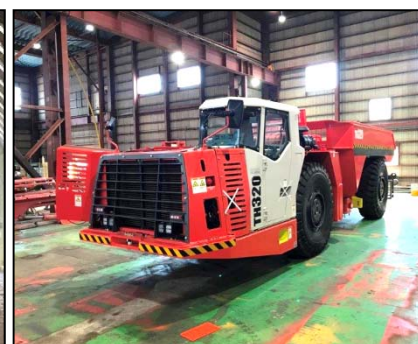
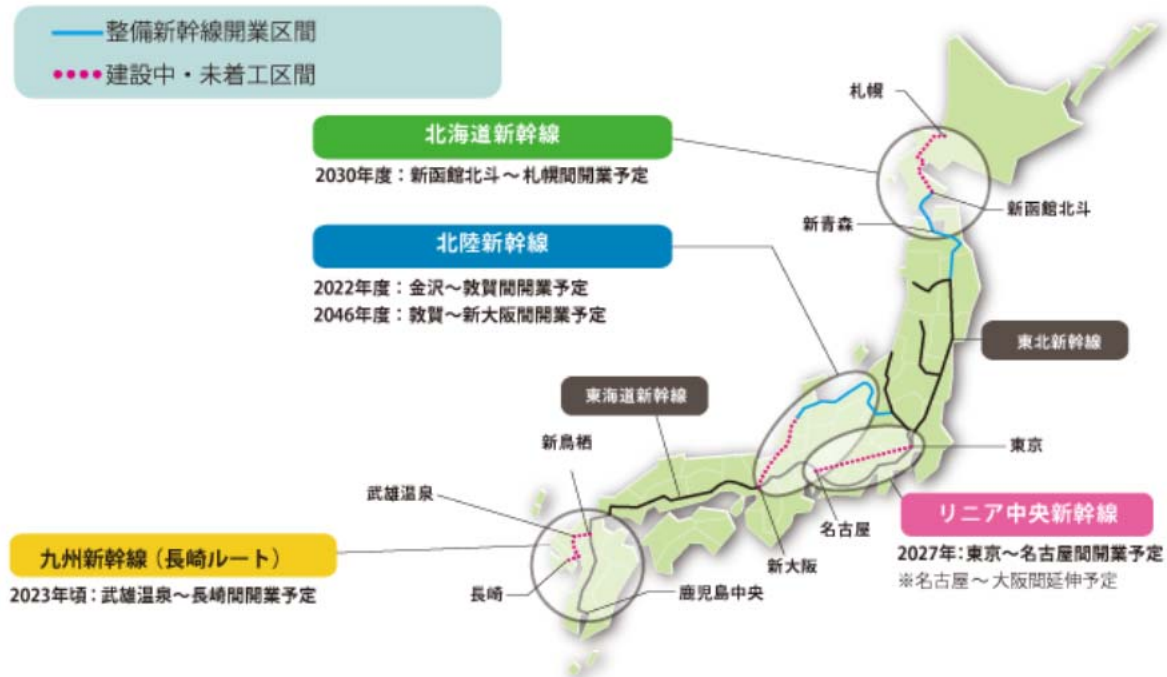
① 福岡営業所



② 九州総合機材センター

》国内営業基盤の拡充

トンネル工事への体制強化



》国内営業基盤の拡充

交通インフラプロジェクト概要

			供用延長 (全体)	更新計画			
				大規模更新	大規模修繕	更新計画合計	備 考
全国 路線網	NEXCO	延長	約20,000km (のべ延長)	237km	1,872km	2,109km (全体の約10%)	事業期間はH27 ～H41(15年間) 料金徴収期間を 10年延長(～ H72.6.24)
		費用	—	17,468億円	12,597億円	30,064億円	
	本四 高速	延長	約150km (のべ延長)	—	30km	30km (全体の約20%)	
		費用	—	—	247億円	247億円	
首都高速		延長	約300km (道路延長)	8km	55km	63km (全体の約20%)	事業期間はH26 ～H40(15年間) 料金徴収期間を 15年延長 (～H77.9.30)
		費用	—	3,775億円	2,487億円	6,252億円	
阪神高速		延長	約250km (道路延長)	5km	57km	62km (全体の約25%)	事業期間はH27 ～H41(15年間) 料金徴収期間を 12年延長 (～H74.9.18)
		費用	—	1,509億円	2,176億円	3,685億円	



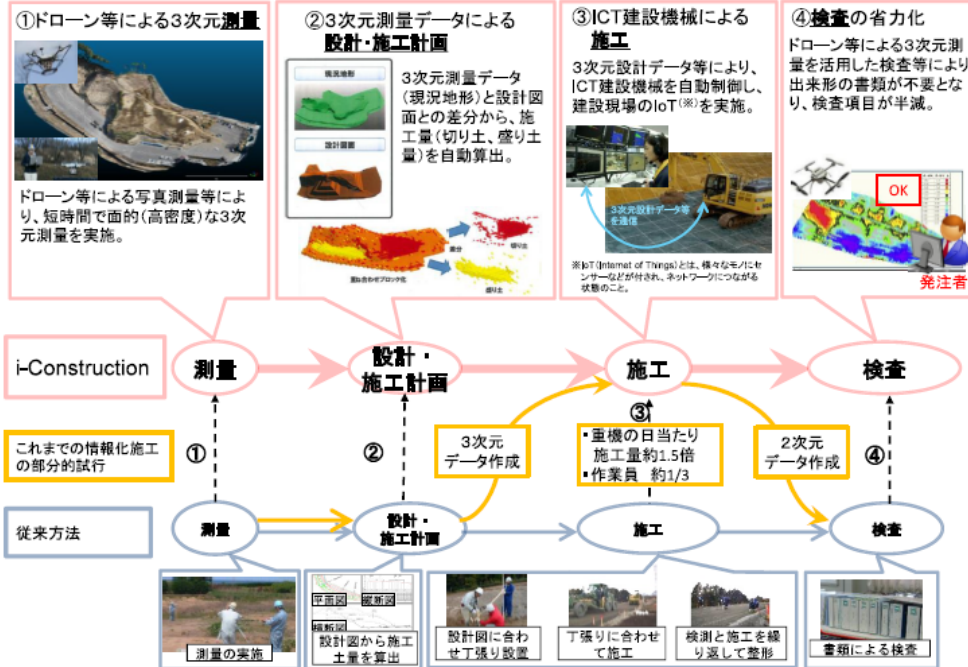
資料出所: 阪神高速道路株式会社「大規模修繕・更新の事業化について(平成27年3月30日)」

>> 国内営業基盤の拡充

i-constructionへの取り組み

ICT技術の全面的な活用(土工)の概要

ICT施工技術の活用推進



3



》》BULL55 重点施策

01

国内営業基盤の拡充

02

海外展開

03

内部オペレーションの最適化

>> 海外展開

上海、香港、シンガポール、インドネシア、タイ、ベトナム、フィリピンの6カ国に合併会社を設立

上海金和源建设工程有限公司

2006年設立 (連結子会社 2 分公司)

金本(香港)有限公司

2009年設立 (非連結子会社)

Kanamoto & JP Nelson Equipment (S) PTE. Ltd

2011年設立 (非連結子会社)

PT Kanamoto Indonesia

2014年設立 (非連結子会社)

上海可基机械设备有限公司

2014年設立 (非連結子会社)

KANAMOTO FECON HASSYU CONSTRUCTION EQUIPMENT RENTAL JSC

2015年設立 (非連結子会社)

SIAM KANAMOTO CO.,LTD.

2015年設立 (非連結子会社)

KNK MACHINERY & EQUIPMENT CORPORATION

2016年設立 (関連会社)

FECON UNDERGROUND CONSTRUCTION JSC

2016年設立 (関連会社)

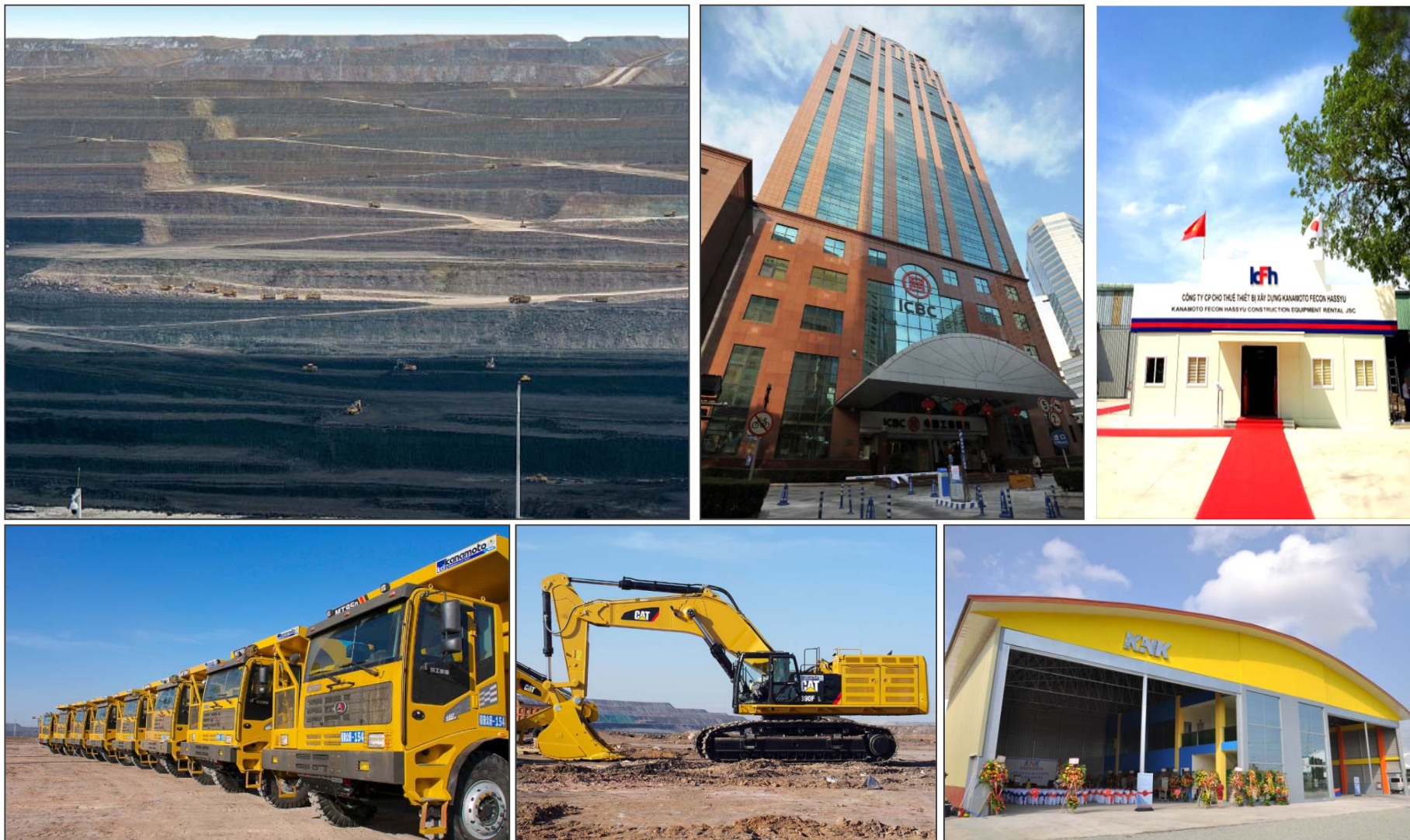
卡纳磨拓(中国)投资有限公司

2017年設立 (非連結子会社)



海外展開

海外事業は当社の中長期の成長エンジンととらえ、既存子会社を維持拡大させつつ、当社グループの得意分野でもある地盤改良等で特色を発揮



》》BULL55 重点施策

01

国内営業基盤の拡充

02

海外展開

03

内部オペレーションの最適化

>> 内部オペレーションの最適化

関連会社新レンタル業務システム 導入計画(今後の予定)



2017年5月
株式会社カンキ



第一機械産業

2017年11月
第一機械産業株式会社

kanamoto

2018年5月
株式会社カナモト

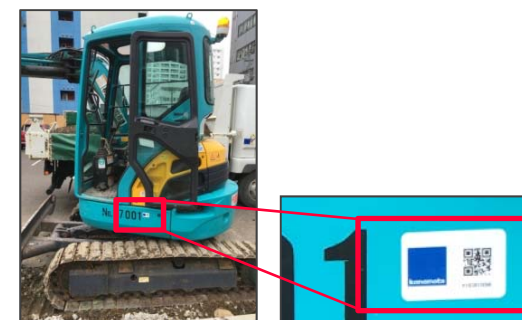
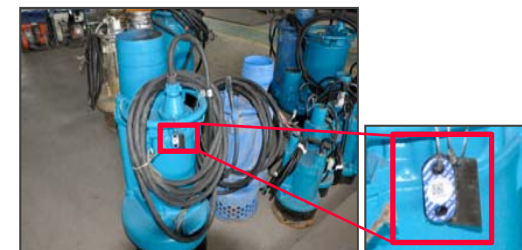
九州建産
株式会社九州建産

NISHIKEN
株式会社ニシケン

UNITE
ユナイト株式会社

kanamoto

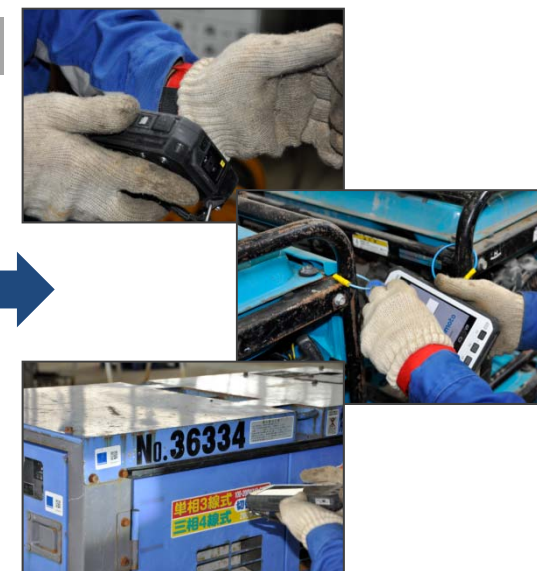
2017年7月
QRコード・ICタグ サービスイン



2017 年

2018 年

2019 年





お問い合わせ先

株式会社カナモト 広報室

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1-19
TEL.011-209-1631(土日祝除く 8:30~17:00)

ホームページ <http://www.kanamoto.co.jp>
IRサイト <https://www.kanamoto.ne.jp>

【免責事項】

本説明会及び説明資料に含まれる歴史的事実ではないものは将来の見通しです。
将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり多分に不確定な要素を含んでおります。
従いましてこれらの見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。
実際の業績等はさまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

>> 参考. 15年経営指標(連結)

(単位: 百万円)

	FY2004	FY2005	FY2006	FY2007	FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018/E
売上高	61,336	63,975	68,023	68,626	69,411	63,863	70,173	71,086	86,106	110,831	125,555	133,292	144,870	158,428	161,870
営業利益	1,874	1,404	4,068	4,236	2,227	137	2,648	2,905	6,430	11,392	16,454	16,270	15,134	16,665	17,330
経常利益	1,749	1,550	3,788	4,416	2,028	-222	2,083	2,239	5,932	11,073	16,078	16,164	14,405	17,193	17,420
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,097	352	1,742	3,035	644	-1,158	1,041	1,165	3,575	5,809	9,299	9,557	8,098	10,744	10,900
純資産	32,745	33,465	38,051	39,973	38,202	36,541	37,025	37,592	41,399	56,192	65,513	71,998	81,434	91,788	101,531
総資産	89,323	81,977	86,815	85,155	91,741	96,435	108,509	115,120	137,343	169,250	188,491	202,919	220,836	227,545	237,287

